

# アルピクス・映像 / 音声エラー - 検出装置 VAD-310A

REV1.0

## 特 長

映像・音声のエラーを検出し、エラー内容をSNMPエージェントにより外部へ通知します。  
ARIB STD-B39形式の局間情報から音声モードを読み出し、音声モードに連動して音声エラー検知を行います。

## 仕 様

### 1. 検出基板

入力信号  
 入力信号数 : 1系統  
 信号形式 :映像 :SD-SDI SMPTE259M - C 480i [D1]  
                     :HD-SDI SMPTE292M 1080i  
                     :音声 :エンベデッドオーディオ 48kHz 16bit 4ch (SD-SDI時)  
   48kHz 16bit 8ch (HD-SDI時)  
 入力接栓 : BNCコネクタ

外部通知信号  
 通信仕様 : 100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース  
 プロトコル : SNMP  
 コネクタ : RJ-45モジュラ

### 2. 筐体

筐体型式 : TN-401  
 電源ユニット型式 : PU-401  
                     電源ユニットは2台実装され、リダンダント動作となります。  
 検出基板実装数 : 最大10枚  
 外形寸法 : W430 × H176 × D555 mm (突起物を含まず) 4Uラックマウントサイズ  
 重量 : 約 20 kg  
 電源電圧 : 100V ~ 240V ± 10% AC 50 / 60Hz  
 消費電力 : 約 350 VA (最大負荷時)  
 使用温度 : 5 ~ 40

## 機 能

エラー検出項目  
 フリーズ : フレームメモリに輝度信号を保存し、画面中の動き量を計測します。  
 ブラックアウト : 画面中の輝度情報からブラックアウトを検出します。  
 輝度レベルエラー : 画面中の輝度成分にしきい値を超えるあるいは下回るものがないか計測します。  
 色差レベルエラー : 画面中の色差成分にしきい値を超えるあるいは下回るものがないか計測します。  
 音声レベルエラー : 無音、レベル大小を検知します。  
                     局間情報から読み出した音声モードに連動して検知処理を行います。  
                     (例: 音声モード=ステレオの場合は未使用音声チャンネル3ch~8chのエラーをマスク)  
 音声逆相 : 音声の逆相を抽出します。(Ch1-2間, Ch3-4間, Ch5-6間, Ch7-8間)  
 1kHz : 音声の1kHzを検知します。(Ch1, Ch2)  
 VITCエラー : 入力信号のVITCを読みとり、その連続性を監視します。  
                     (ドロップフレーム方式であるなしに関わらず検知)

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります

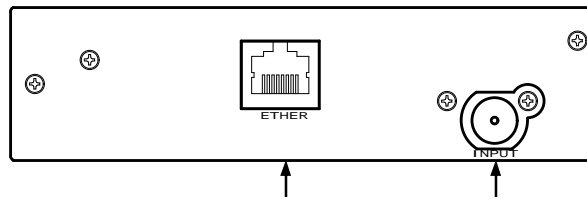
 【型番】  
VAD-310A

アルピクス株式会社

【整理番号】

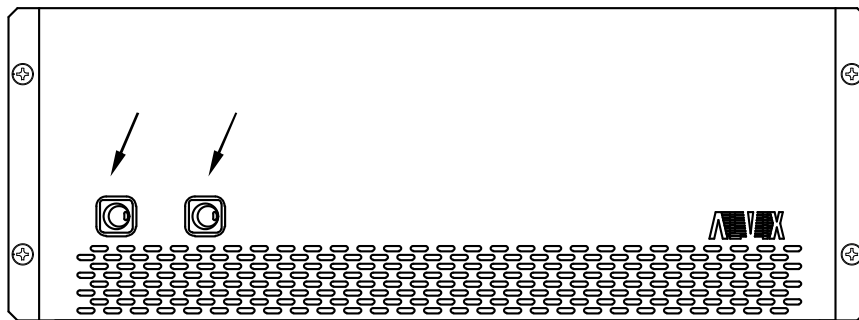
本体各部の名称と機能

検出基板



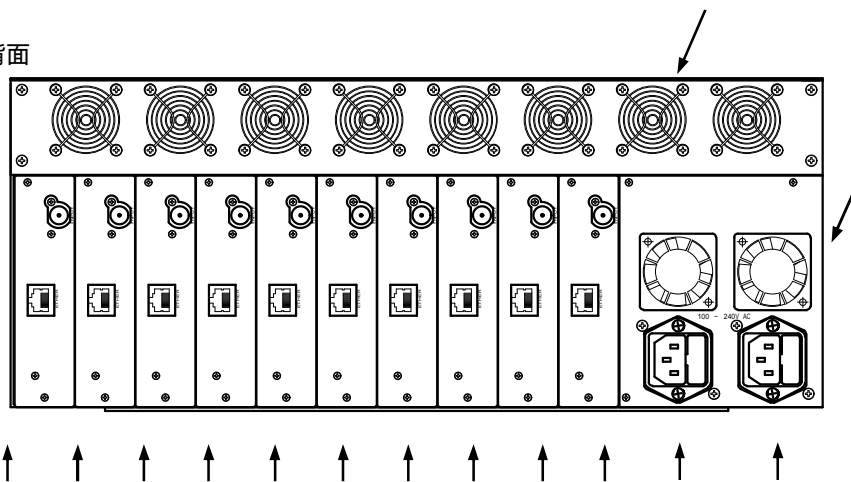
- ETHER :SNMP制御用LANインターフェースです。  
(100BASE-TX/10BASE-T RJ-45 モジュラ)
- 入力 :HD/SD-SDI 入力コネクタです。(BNC)

筐体前面



- 電源スイッチ1 :電源ユニット1の電源スイッチです。
- 電源スイッチ2 :電源ユニット2の電源スイッチです。

筐体背面



- ~ ボードスロット :検出基板が挿入されます。  
空きスロットにはブランクパネルが装着されます。
- 電源インレット1 :電源ユニット1のインレットです。
- 電源インレット2 :電源ユニット2のインレットです。
- ファン :冷却ファン(吐き出し)です。
- 電源ファン :電源ユニット冷却ファン(吐き出し)です。

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります

[型番] VAD-310A	アルビクス株式会社	[整理番号]
------------------	-----------	--------